

# 隔測指示温度計

このたびはミナモト製品をお買い上げいただき誠に有難うございます。  
この取扱説明書は、隔測指示温度計に関する情報が記載してありますのでご使用になられる前には必ずご一読いただき保守・サービスにお役立てください。

**■マークのご説明** この取扱い説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「警告」「注意」とで区別してあります。

- 危険** 取扱を誤った場合に危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
- 警告** 取扱を誤った場合に危険な状況が起こりえて、重傷又は傷害を受ける可能性が想定される場合。
- 注意** 取扱を誤った場合に危険な状況が起こりえて、中程度の傷害又は軽傷を受ける可能性が想定される場合、及び製品などに物的損害だけの発生が想定される場合。






※ **注意**に記載した事項は、その状況により重大な事故に結びつく可能性があります。  
※ 上記に記載した事項は、全て重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

### 運搬・保管及び開梱上の注意 お手元に届きましたら・・・

- 一運搬上の注意一**
  - 落下したり衝撃を加えたりしますと、使用不能になる場合がありますので、運搬には十分な注意を払ってください。
  - 指示部・リード部及び感温部全体を持ってください。指示部・感温部などをぶら下げた状態で持ち運ばないでください。
- 一保管上の注意一**
  - 湿気の少ない場所で、振動・塵埃等のない場所を選んで保管ください。
- 一開梱上の注意一**
  - 本製品は、リード部にビニールチューブを使用しておりますので開梱の際は、刃物などで中の製品に傷をつけたり、衝撃を与えないように注意してください。
  - 荷を乱暴に扱わないようご注意ください。
  - 荷から取り出したとき、誤って落下させたりする事の無いよう十分広い場所で荷を解いてください。

※ 本製品は、原材料からの一貫した品質管理のもと出荷しておりますが万一のために製品に傷や不具合が無いかをご確認ください。尚、ご使用前に傷や不具合が確認された場合は、絶対に使用なさらず弊社営業部又は、お求めになられました販売店までご連絡ください。

### (注意事項) 警告

	● 分解修理、改造は絶対にしないで下さい。思わぬ事故や危険を招きます。
	● 封入液は有機溶剤(石油系)です、万一漏洩した場合は直接触れたりしないでください。仮に触れた場合は水道水などでよく洗浄してください。また、口に入ってしまった場合は口をすすぎ、うがいをし直ちに医師の診断、治療を受けてください。
	● 封入液は有機溶剤(石油系)です、万一漏洩した場合は取扱いは十分注意してください。可燃性、引火性液体のため発火の恐れがあります。
	● 導管や感温部はつぶしたり、切断したりしないでください。本体の破損を招きます。 ● フルスケール以上の計測は絶対にしないでください。本体の破損を招きます。 ● 電磁調理器などの計測は絶対にしないでください。 ● リード線の折り曲げ(最少曲R30mm)、ねじれ厳禁。
	● 振動・衝撃の加わる場所、常時振動のある場所では使用しないでください。 ● 取付時に本体がゆがまないよう凹凸のない平坦な壁面に垂直に固定してください。歪んで固定しますと誤差の発生や故障の原因になります。 ● 湿気や塵埃が少なく周囲温度が常温(20℃付近)で一定した場所でご使用ください。 ● ※40℃以上にならないよう考慮ください。 ● 測定箇所(薬液槽)に感温部が半分以上浸かるように設置してください。 ● 固定用フック以上は、液中に浸けることを厳禁。センサ内に薬液が浸入し誤作動や故障を招きます。 ● 指示部と感温部に高低差がある場合は事前に御相談ください。 ● 常用温度は温度表示(全スパン)の30～60%程度としてください。 ● 超音波槽でのご使用は不可となります。

■ お客様又は第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合 又はこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いません。  
■ 本製品は、付属品も含め、改良の為予告なく変更することがあります。■ ヒーターに関するご質問・お問い合わせは、下記までご連絡ください。



### 製品仕様

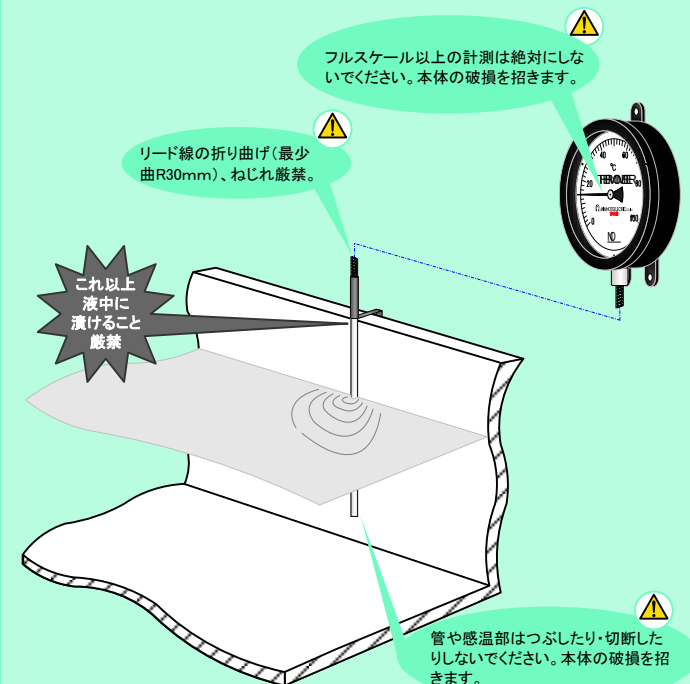
- 製品名: 隔測指示温度計
- 用途: B-A アルカリ性薬液、冷凍庫、冷蔵庫、ショーケース 食品関係。  
B-S 強酸性薬液、一般酸性薬液、海水。  
B-M 一般酸性薬液、アルカリ性薬液、一般メッキ薬液 食品関係、海水。  
D 冷蔵庫、乾燥機、アルカリ性薬液、発酵室、食品関係、孵化室、ショーケース。

### ＜本製品の特徴＞

■ 本製品は、有機溶剤(石油系)を感温部に真空封入し、この膨張圧変移をリード線の内管を介して本体内のブルドン管の回転運動に変化させて、丸型文字盤の目盛を読み取ることで指示温度計として成り立っています。

### セットアップ手順/保守・サービス

- 次の点に留意して取り付け場所を選定してください。  
直射日光が当たらないこと。雨露に晒されないこと。高温にならないこと。高温、低温にならないこと。
- 目盛ダイヤル部を壁、又は、柱に取り付けます。薬液の場合は、液槽から離して取り付けます。
- ▲ 温度計は振動を嫌いますので、振動のない場所を選定し、取り付けてください。
- 測定箇所(薬液槽)に感温部が半分以上浸かるように設置してください。
- 固定用フック以上は、液中に浸けることを厳禁。センサ内に薬液が浸入し誤作動や故障を招きます。
- 取付けネジに合った取付け用ソケット又は、ネジを切った所にねじ込みます。(※埋込D型の場合)
- リード線をねじ切らないようご注意ください。(※埋込D型の場合)



### ＜お手入れ＞

- 正確な感度保持の為、時々保護管を洗浄して付着物がある場合はスポンジなどの柔らかいもので落としてください。
- 洗浄の際は、金属のスクレーパー、ワイヤーブラシ、ヤスリなどの硬いものでは行わないでください。
- 計器部(目盛)のガラスも布で拭いてください。